

令和元年度 4 学年 国語科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○漢字の学習に意欲的であり、小テスト等にもすすんで取り組むことができる。 ○表現したものの良さを認め、伝え合うことができる。 ○文章の内容の大体や要旨を捉えること、大まかな文章構造を捉えることができる。 ○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。 △自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、分かりやすく書く（表現する）ことに課題がある。 △書かれていることを正しく読み解く力や、教材や資料から必要な情報を取り出す力に課題がある。 △既習の漢字を文や文章中で活用することができない児童が多い。 △引用の仕方や国語辞典・漢字辞典の使い方が身に付いていない児童が多い。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<p>・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、分かりやすく書く（表現する）こと。 ・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。【説明文】 ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。【物語文】 ・漢字の習熟と活用。</p>	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<p>・週に一度、テーマ作文（自分の考えを書き出す題材）を家庭学習に課すことで、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を整理して書くことに慣れさせ、整理することを習慣化させる。 ・課題解決に必要な情報や叙述を取り出す手がかりとなる言葉に着目させるなど、その取り出し方を指導する。 ・漢字学習を楽しんで習熟できるように「漢字ビンゴ」等を活用して、新出漢字を活用できるようにする。国語辞典や漢字辞典を授業中に引くことを習慣化させ、語彙量を高める。</p>
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： ○○クラブのすゝめ —「クラブ活動リーフレット」を作ろう— 指導時間： 8 時間 指導時期： 1 1 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<p>・翌年からクラブ活動が始まる3年生に自分のクラブのおすすめを伝えるという、<u>相手意識・目的意識</u>を明確にした学習設定により、相手（3年生）に分かりやすく伝えられるよう表現を工夫して書くよう促す。 ・『アップとルーズで伝える』で学習した説明の仕方を利用して、<u>伝えたいことの中心に合った材料</u>（写真や取材したもの）を選び、分かりやすく組み立てるようにさせる。そのため、キャッチコピーを考えさせておき、それに合った選材をさせる。 ・自分の伝えたいことが分かりやすく伝わるよう、<u>写真と文章を関連付け</u>、筋道立てて書くようにする。アップの写真、ルーズの写真を目的に合わせて活用させ、必要な情報を分かりやすく伝える手だてとする。 ・自分のクラブの良さが伝わるか、同じクラブの児童同士で文章上の工夫について意見を述べ合う「<u>ゴッタイタイム</u>」を設定し、文章を推敲させ、より分かりやすく、3年生が活動してみたいと思える内容に書き直す時間を設ける。</p>

令和元年度 4 学年 算数科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○学ぶことに対して興味が強く、意欲的に学習できる児童が多い。 ○整数のわり算の計算を正しくできる児童が多い。 △文章題を読んで立式することができるものの、思考場面でつまずく様子が見られる。 △基本的な形や角度等については認識、また作図をすることができるが、工夫して作図をしなくてはならない場面でつまずく様子が見られる。 △自分の考えを発表することに、苦手意識をもつ児童が見られる。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度 ・学習したことを生活や学習に活用しようとする態度 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章で分かっていること、聞かれていることに下線を引かせ、何について考えなくてはいけないかを整理し、色々な思考ツールを使いながら考えを書かせる。 ・数学的な活動を置く取り入れ、日常生活と結びつけた活動を行い、定着を促す。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：かたちであそぼう 指導時間： 1 時間 指導時期： 10 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパスを用いて描かれた模様を見てどのようにかいたのか推論し、円の中心をどこにしたのかを考えさせる。そのため、実際にコンパスで針を刺して試行錯誤させる。また、弧を延長すると円ができ、その中心にコンパスの針を刺すとよいことに気付かせる。 ・身の回りにある課題を算数を用いて解決する視点を育てるため、ポスターにバランスよく文字を配置する時にもコンパスを用いることができることを紹介する。その際、文字を配置する辺を文字数でわると一文字分の直径が分かり、直径を2で割ると半径が分かることを考える場面を設ける。

令和元年度 4 学年 理科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○新しいことを学ぶことに対して興味が強く、意欲的に学習できる児童がいる。</p> <p>○友達が困っているときに、手を差しのべる児童が多い。</p> <p>△きちんとした授業態度で、授業を受けることが難しい児童が一部いる。</p> <p>△身の回りの現象に対して理科を関連付けることや、理科的な内容を比較・検討して問題を解決する力が不足している。</p> <p>△自分の考えをもつことや、根拠のある予想を記述したり、考察について説明したり、記述したりすることが難しい児童がいる。</p>	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・金属、水及び空気の性質について、体積や状態の変化、熱の伝わり方に着目してそれらの温度変化と関係付けて調べる活動を通し、金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりするとそれらの体積が変わるが、その程度には違いがあることを確かめ説明する。 ・金属、水及び空気の性質について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、金属、水及び空気の温度を変化させたときの体積や状態の変化、熱の伝わり方について、根拠のある予想を発想し、表現する。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【授業改善策】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・温度と状態の変化を意識出来るように、声掛けをしたり、図やグラフを提示したりするようにする。 ・児童自身も温度による状態変化が分かるように、表に整理したり、模造紙にグラフを大きく書いたり、色分けしたり、視点によって色分けした付箋を利用したりするようにする。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： ものの温度と体積</p> <p>指導時間： 7 時間 指導時期： 10 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の自然の事物・現象を対応させ比べるとともに、予想と結果を比較したり、友達の考えと自分の考えを比較したりすることが出来るようにする。 ・既習事項や生活経験を基にして、根拠のある考えを書くようにさせる。 金属や水及び空気に温めたり冷やしたりした時に、それらの体積が変わるかどうか注目して、具体的に予想させるようにする。また、生活の場面で身近にある空気の入った袋やお湯や鍋などの金属を思い起こさせて、どのようなものの体積が変わるか、とらえられるようにする。 ・実験の結果を整理し、学習を振り返ることを通して、自分の考えをもつことが出来るようにする。 ・水の三態を扱うときは、様子、温度、体積の変化に注目させるようにする。

令和元年度 4 学年 社会科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○身近な社会的事象に興味をもっている。 ○与えられた学習課題を解決しようと努力することができる。 ○社会科見学などの調査活動で分かったことをメモし、それを事後のまとめで生かそうとする児童が多い。 △様々な社会的事象から課題を設定する力が低い。 △調査活動後に、学んだことを実生活と結び付けて深く考えたり、的確にまとめたりする力の差が大きい。 △都道府県の地理的環境についての知識が乏しい。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に見られる課題を把握すること ・情報収集や資料選択を適切に行うこと ・比較したり、何かと関連させたりして、社会的事象を多角的に考えること 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既習学習や身近な生活と関連させながら、「知りたい」「調べたい」という意欲を高める。 ・資料の選択の仕方や情報のよりよいまとめ方を、事例を挙げて具体的に指導する。 ・「今」を意識させ、当時と比較した自分の考えをもてるようにする。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：郷土の発展につくす ～玉川兄弟と玉川上水～ 指導時間：8 時間 指導時期：9～10 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の暮らしの様子などの歴史的情報を示し、郷土の発展についての興味・関心を高める。 ・玉川上水の地図や図書資料や映像などから、当時の生活上の課題を考えさせる。 ・調査活動では、事前に自分の学習課題を明確にして調査や見学をするようにし、自分の考えを今の生活と結びつけてまとめられるようにする。 ・玉川上水が流れている地域をたどり、東京都の地理についての理解を深める。

令和元年度 4 学年 体育科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○意欲的に運動に取り組み、技能を獲得しようとする児童が多い。 ○用具の準備を協力して行うことができる。 ○表現運動にすすんで取り組み、音楽に合わせて、動きをそろえて楽しんですることができる。 ○友達のよい動きを見つけ、自分の運動に取り入れようとする事ができる。 △集合整列に時間を要する。 △場の危険物を取り除いたり、用具を安全に使用したりする態度に課題がある。 △勝敗が伴う運動については、その結果を受け入れられず、トラブルにつながることもある。 △自己の課題やチームとしての課題に気付いても、どのようにすれば改善できるのか適切な判断までに至らない。 △運動能力に差があり、苦手意識や自信がないことから、児童が思い切り運動に取り組めていない面がある。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集合整列をすばやくし、健康や安全面に配慮できるようになる。 ・勝敗を受け入れ、クラス全体で運動することへの楽しさを味わわせる。 ・ペアやトリオ、チームで、お互いにより動きや課題となる点を見つけ、教え合いの楽しさに気付かせ、自信につなげる。 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の能力差に応じて課題を設定し、児童自身がめあての動きを獲得できるように運動の場を選択できるようにする。サーキットトレーニングを活用して、運動能力の向上を図る。 ・学習カードなどを作成・活用し、自己の課題と解決に向けた活動内容を明記させ、少しずつ段階を踏んで努力を重ね、力が高まっていることを実感できるようにする。また、カードに書いた自分の考えを全員が伝え合う場と、それを認め振り返る時間も設定するようにする。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： 走・跳の運動 ―走り幅跳び― 指導時間： 6 時間 指導時期： 1 1 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の模範や ICT 教材の模範動画で運動のポイントを明らかにする。また、そのポイントをコルクボードに貼っておき、児童がいつでも確認できるようにする。よい動きを焦点化することで、児童同士のアドバイスや意見の交流が活発になるようにする。 ・単元を通して、ペアで運動に取り組みせ、跳んだ後、良い動きや次につなげるアドバイスを必ず伝えるよう指導する。ペアで課題に取り組むことで、技能や自信の獲得を図れるようにする。 ・フラフープの場（最後のリズムカルな3歩を意識する場）、ハードルの場（ハードルを飛び越えて踏み切りの高さを意識する場）、跳び箱の場（空中姿勢「ん」の字を意識する場）を設定し、児童自らの課題に合わせて運動の場を選択できるようにする。 ・毎時の授業後半では、記録会を設定し、自らの目標にどの程度近づくことができたのか記録をし、次の運動のめあてにつなげられるようにする。 ・振り返りでは、児童がどのような課題をもって、どのように運動に取り組んだのか、カードに記入させ、全体で共有することで、互いを認め合う時間を設定する。

令和元年度 4 学年 図画工作科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○表現したり鑑賞したりする活動に、意欲的に取り組む児童が多い。</p> <p>△道具の正しい扱い方や片付け方が十分に身に付いていない児童がいる。</p> <p>△友達や既存の形を真似て、自分の見方や感じ方を広げたり、豊かに発想・構想したりすることが苦手な児童がいる。</p>	
<p>↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・材料の特性をつかむこと ・手や体全体を働かせて材料や用具を使い、創造的につくったり表したりすること ・基本的な道具の使い方や片付け方、材料との効果的な組み合わせ方を理解すること 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓</p> <p>授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な素材を使って手先や体を十分に活動させ、できた形から自由に発想・構想させる。 ・毎回、道具の扱い方や片付け方について確認する。特に、新しい道具の導入時は、安全に扱えるよう丁寧に説明する。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名：ぐにゃぐにゃ人形をつくろう</p> <p>指導時間：5 時間 指導時期：9 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな紙に触ったり、手で切ったり、丸めたり、ねじったりなどして紙と十分に関わらせ、材料の特徴をつかむ時間を設定する。 ・新聞紙に必要な線を引いたものを何枚か用意し、自分でうまく線が引けなかった児童に渡して、授業展開をスムーズにする。 ・体の各部分の関節を確認し、そこがセロテープを貼る場所になるようにする。また、セロテープを貼り過ぎないように、基本的なルールを示す。 ・紙ゴミがたくさん出るので、リサイクルの視点で分別して片付けさせる。

令和元年度 4 学年 音楽科 授業改善推進プラン

<p>児童・生徒の 【実 態】</p>	<p>○合奏に興味をもっており、いろいろな楽器に挑戦しようとしている。 △高音部もきれいな声で歌えるようになり、声量も落ち着いてきたが、一部の児童は音程が定まらず、声量も非常に少ない。自分の声をよく聴いて響かせて歌い、自信をもって合唱を行うことが課題である。 △リコーダーに意欲的に取り組んでいるが、指使いとタンギングでは継続的な練習が必要である。サミングも息づかいの課題が残る。</p>	
<p>↓ 重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏したり、曲想とその変化を感じ取って想像豊かに聴いたりする。 ・進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむ。 	
<p>【授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓ 授業改善の手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発声練習を行ったり、たくさん歌ったりする活動を通して、表情豊かに声を出せるようにする。 ・基礎的な技術を楽しく繰り返し学べる場を設定をしたり、スモールステップでタンギングの定着を図ったりして、達成感をもたせる。 ・曲を鑑賞したり器楽合奏に取り組んだりすることにより、音の響きや音が重なる楽しさを味わわせることで、音楽を「聴く」「感じる」ことができるようにする。
	<p>実践する 【単 元】</p>	<p>単元名： 音楽を楽しもう 指導時間：6 時間 指導時期：2～3 月頃</p>
	<p>単元における 具体的な手だて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発声練習を行うことや、たくさん歌う活動を通して、声を出すことに抵抗をなくしていくようにする。 ・基礎的な技能を楽しく繰り返し学べるような場を設定したり、タンギングの定着を図り、達成感をもたせたりする。高い音はサミングができていないか確認する。 ・簡単な部分合唱やグループアンサンブルなどの合奏の活動を通して、音の響きや合わせる楽しさを味わわせることで、まわりの音を「聴く」ことができるようにする。

